

2023（令和5）年度 おかさきこども園 事業報告

令和5年度、子どもまんなか社会をめざして、子ども家庭庁が創設、「子ども基本法」が施行されました。子どもを取り巻く環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、健やかな成長を社会全体で支える体制が整えられつつあります。そして、核家族化がすすむ中で、少子化、子育て家庭が抱える課題や、保育ニーズはますます多様化・複雑化しています。出生数は、全国的に統計以来初めて80万人を割り75万人あまりの数値が出され過去最低を更新し続けていることが報じられています。湖西市においても、少子化問題は、市策となって取り組みがあげられている状況です。

そして、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました。感染対策を重視していた生活でしたが、おかさきこども園が目指す地域に根ざした園として大切にしてきた「人との関わり地域との関わり」が増えてきました。

また、物価高騰により県と市から昨年同様物価高騰対策支援金がありました。今後の食材高騰の様子をうかがいながら、保護者徴収給食代や材料費等検討していききたいと思います。

<在園児数の確保状況>

急激にすすむ少子化問題、湖西市出生数が、年間300人を割り込み200人代になりました。おかさきこども園は、4月0歳児入園児2名のスタートでした。4月に生まれた子どもが湖西市で14人でした。5月の入園児もなかったため、危機を感じて、急遽、妊産婦や地域の子育て家庭対象に、入園案内や見学ツアー等を実施しました。また、0歳児入園が見込めないため、1歳児2歳児の定員増員の受け入れを行いました。令年度の入園状況は、4月136名、3月末153名、充足率117.2%でした。今後も子どもの出生人数を見据え、園の特徴をアピールして入園数につなげていきたいと考えます。

【園児数実績】

<人>

2/3号	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
5歳児	26	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26
1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
1号	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3歳児	25	26	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2歳児	18	27	27	27	28	26	26	27	27	27	27	27	27	26
1歳児	14	23	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24
0歳児	12	2	2	4	11	11	13	16	16	17	17	17	17	11
合計	126	136	137	140	148	147	149	152	152	153	153	153	153	
充足率	%	108	109	111	117	116	118	120	120	121	121	121	121	117

<職員体制>

今年度、市野異動1名、新規採用職員3名でした。新規採用3名については、学校訪問をしたり、実習から就職につなげることができたと思います。また、産育休復帰が2名、職員配置人数は補充できたものの、短時間勤務のため、正規職員の早番遅番の時間帯に不足し、主幹保育教諭等も含む職員全員でカバーをしました。一方で、新たに産育休に入った職員1名、途中退職2名（転居で子どもが入園できなかった1名、病気死亡1名）がありました。途中退職の後には、パート1名採用、学童から1名異動で補充できました。パート、正規職員のバランス、職員の子育て状況などを考慮し、見通しを持って、保育者の確保は引き続き進めていかなければならないと思います。

保育理念のもと、今年度は「環境づくりのプロセスをみんなで共有して保育力を高める」をテーマに掲げ、「選ばれる・地域に根ざす園」として重点目標及び施策への取り組みを報告いたします。

1. 子どもの思いに寄り添い、肯定的に語ることから、保育環境を工夫し保育の質の向上を図る。

- ①遊びを通して学びに向かう力を育む環境作りを、子どもの姿をもとに常に見直し改善を重ねる努力をしてきました。子どもの姿を見える化してわかりやすく伝える「ドキュメンテーション」を学んで取り組んできました。また、コドモン導入にあわせ、子どもの成長を共有し、子ども一人ひとりに寄り添う記録から、保護者にむけた発信、伝達を行うことで、保護者の安心感を高めたり信頼関係をきずくことができていきました。保育を伝えるということで、職員の自信にもつながったといえます。
- ②2階テラスが熱くて素足で遊べなかったため、人工芝を敷きました。見た目も美しく、子育て家庭の親子が、楽しく遊んでる様子があり魅力の一つになりました。また、1～2歳児の親子ふれあいの会を実施することができ、園内の環境や普段のあそびの様子を見てもらい語り合いの場をもうけることができ、保護者支援、子育て家庭の支援につながりました。
- ③園庭の乳幼児の遊びの確保は、木陰がなくて風が強い現状、また築山等について、幾度も検討を重ねてきました。安全にのびのび遊べる園庭作りとして、専門業者に相談をしながら検討継続していきたいと思います。
- ④たくさんの絵本と玩具の購入について、年齢に応じ保育環境を準備し、発達段階を見据えて見通しを持ちながら学びを深めることができました。実習生も絵本を使ってもらい、魅力のある園の特徴としてたくさんの絵本に触れ、保育目標にあるように、子ども達の感性を豊かにする、子ども達の語彙力や想像力を育てていけるようにしたいと思います。
- ⑤支援を必要とする子ども、配慮が必要な子どもの保育を取り組むうえで、焦点化し、専門職より職員へのアドバイスや相談を定期的に行いました。療育相談や小児神経の医師に、こどものてんかん発作時の対応や定期的に子どもの成長を見ていただけることで情報共有ができ、次への援助方法につながり、職員の安心となりました。

2. 現場が主体と考え、ICT活用をした働きやすい職場づくり。

- ①園内のWi-Fi関連の工事を進めてまいりました。湖西市からのICT化事業の補助金もつけていただき、パソコン、iPhone、iPadの購入をしました。登降園システムを、キッズリーからコドモンにスムーズに移行しました。業務の効率化になり、より子どもに費やす時間となるように職員が実感でき、職員中心で使いやすいように引き続き働きかけていきたいと思っています。

- ②コドモン会議を職員中心に実施し、現場の職員からの意見や感想を多く取り入れました。職員、乳児、幼児会議は月1回で行い、日常の保育の様子や気づき、子どもたちの情報共有しました。以前は「こんな遊びを楽しんでいます」という報告中心でしたが、「遊びや活動からどのような育ちが見られたか」という子どもの姿を語り合うことができるようになりました。
- ③自己評価の話し合いから、対話を進めることをしてきました。保育士ラダーの実施で、振り返りができました。また自分たちでノンコンタクトタイムを作り出す事をしました。
- ④専門性を高め仕事に自信と誇りがもてるように、積極的なキャリアアップ研修への参加、法人の段階別研修への参加の充実を図りました。保育者のモチベーションアップと、語り合う職場の雰囲気づくりにつながりました。職員の中で児童発達支援の人材育成として専門研修を受講しました。
- ⑤食育の取り組みを園全体で研修テーマとして、湖西保育士会実践報告会に発表。給食室、栄養士等の連携が大切であることがわかりました。

3. 安心安全の園づくりと地域交流活動に取り組み地域とつながる園をつくる。

- ①ヒヤリリスク会議を行い、園内の危険箇所等の把握や事故防止に取り組みました。不適切な保育が社会問題として取り上げられ、園でも人権チェックリスト行い、行動の見直しなど意見を交わしました。それには、お互いに言い合える環境が大切ということを学び、職員同士が対話できるよう今後も進めていきたいと思ひます。
- ②大きな修繕はありませんでしたが、空調のガス充填修理を行いました。10年を超えた園舎ですので設備関係、災害対策もあわせて考えていきます。
- ③お年寄りとの交流は 少なくなりましたが、地域の子育ての場を失わないように、地域で身近な子育て支援の拠点として、子育て支援びよびよクラブの実施を行ってきました。少人数ではありますが、子育て相談につながられました。
- ④学童との交流、就学に向けて小学校との交流を行いました。幼保連携に向けてつなぎの一步になるように引き続き続けていきたいと思ひます。

【びよびよクラブ利用】

<延べ人>

R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	40	47	37	37	14	24	35	25	30	26	14	25	354

4. 【一時預かり事業】

<延べ人>

R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2	32	3	9	3	15	16	14	0	2	1	0	97

5. 【休日保育事業】 他の園からの利用5人

<延べ人>

延人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5	5	2	0	51	47	59	44	105	0	58	108	57	536